

マーケットの動き (2020年3月30日~4月3日)

為替市場は、米ドルは対円で上昇(円安)しました。

低調な米国の経済指標をよそに、減産期待を受けた原油高・株高の動きを受け、米ドルは主要通貨に対して上昇しました。

3日には雇用統計が発表され、非農業部門雇用者数が前月比70.1万人減と市場予想を大幅に下回る減少となったものの、欧州でも大幅な指標悪化が見られたこともあり、市場の反応は限定的となりました。

投資環境見通し (2020年4月)

米ドルとユーロはともに、円に対して変動率の高い状況が続く

米ドル：3月にみられた米ドル不足の状況は、主要国中央銀行が協調してドル資金の供給を行うことで一旦解消したとみられます。当面は新型コロナウイルス感染拡大の動向と社会・経済活動への影響を注視しつつ、円に対して変動率の高い状況が続くとみています。

ユーロ：これまで財政出動に消極的だったドイツが国債を発行して経済対策に踏み切り、イタリア首相はすでに発表された経済対策に対して追加を行う考えを示しました。ユーロは米ドルと同様に、円に対し変動率の高い状況が続くとみています。

	4月3日	変動幅 (円)			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	108.51	0.31	0.95	1.82	▲2.99
ユーロ/円	117.17	▲2.47	▲3.06	▲0.02	▲8.03

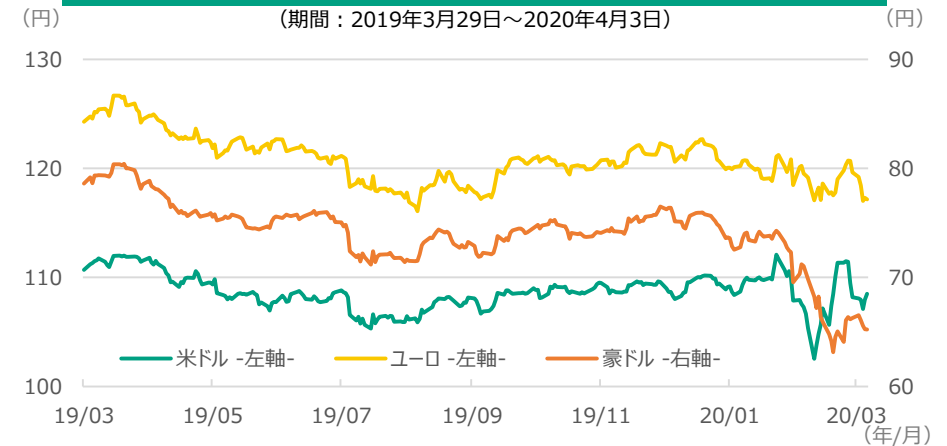
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

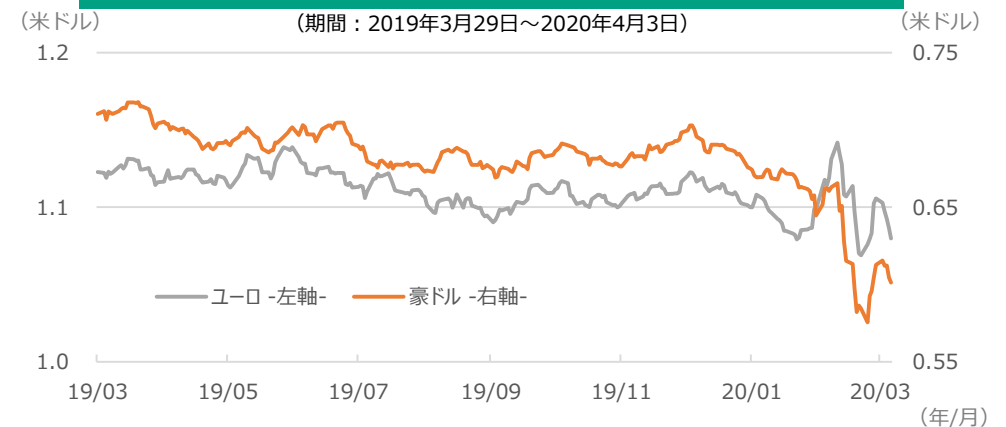
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202004_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し(総合)の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

為替レートの推移 (対日本円)



為替レートの推移 (対米ドル)



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成